

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年5月15日
【四半期会計期間】	第13期第1四半期(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
【会社名】	株式会社シンシア
【英訳名】	Sincere Co., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役執行役員社長 中村 研
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋箱崎町30番1号
【電話番号】	03-5695-7470
【事務連絡者氏名】	取締役執行役員管理部長 荒井 慎一
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋箱崎町30番1号
【電話番号】	03-5695-7470
【事務連絡者氏名】	取締役執行役員管理部長 荒井 慎一
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第12期 第1四半期 連結累計期間	第13期 第1四半期 連結累計期間	第12期
会計期間	自 2019年1月1日 至 2019年3月31日	自 2020年1月1日 至 2020年3月31日	自 2019年1月1日 至 2019年12月31日
売上高 (千円)	1,062,365	962,162	4,368,728
経常利益 (千円)	6,556	23,162	152,241
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (千円)	3,582	12,947	76,313
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	2,147	6,855	72,092
純資産額 (千円)	1,818,434	1,869,749	1,887,726
総資産額 (千円)	2,673,843	2,751,384	2,881,701
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	0.58	2.09	12.29
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	0.57	2.06	12.15
自己資本比率 (%)	68.0	68.0	65.5

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。  
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、国内製造業の業績に先行きの不透明感が靨くものの、為替は円安水準で推移し、国内企業の生産設備やサービスインフラ等への積極的な投資も継続し堅調な状況が続いてまいりました。しかしながら、米中貿易摩擦や英国のEU離脱等の影響が懸念される中、新型コロナウイルス感染症の世界的な規模での拡大により、実体経済に対する懸念が世界的に急速に高まってまいりました。

コンタクトレンズ業界におきましては、急速な少子高齢化に伴う人口減少が進んでいるものの、1日使い捨てタイプコンタクトレンズへのニーズのシフトが継続していることや近視人口の急激な増加・若年化が進んでいること、また、カラーコンタクトレンズ市場の拡大等もあり、コンタクトレンズ市場全体は緩やかながら成長基調にあるものと推測しております。しかしながら、価格、販路、広告戦略等々における各メーカー間の販売促進活動が激化しており、当社を取り巻く競争環境は厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社グループの状況は、当社ブランドのクリアレンズは、シリコーンハイドロゲル素材コンタクトレンズ「SINCERE 1DAY S」の売上高が121,607千円（前年同四半期比211.0%増）、ドラッグストア専売コンタクトレンズである「1Day Eye Well」の売上高が38,256千円（同24.7%増）などと好調に推移し当社ブランドのクリアレンズ全体の売上高は364,443千円（同26.8%増）となりました。一方で、プライベートブランド商品の売上高は販売各社における販売計画の遅延等により460,131千円（同20.1%減）となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は962,162千円（前年同四半期比9.4%減）となりました。利益面は当社ブランドのクリアレンズの売上高増加に伴い売上総利益率が改善したことなどから、営業利益18,288千円（同182.6%増）、経常利益23,162千円（同253.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益12,947千円（同261.4%増）となりました。

## (2) 財政状態の分析

### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は2,691,151千円となり、前連結会計年度末に比べ122,568千円減少いたしました。これは主にその他に含まれる預け金が99,994千円、商品が26,160千円それぞれ増加したものの、現金及び預金が124,955千円、受取手形及び売掛金が113,748千円それぞれ減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は60,232千円となり、前連結会計年度末に比べ7,748千円減少いたしました。これは主に繰延税金資産が5,458千円減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は2,751,384千円となり、前連結会計年度末に比べ130,317千円減少いたしました。

### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は651,635千円となり、前連結会計年度末に比べ97,340千円減少いたしました。これは主に未払法人税等が67,847千円、その他に含まれる未払給与が33,608千円それぞれ減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は230,000千円となり、前連結会計年度末に比べ15,000千円減少いたしました。これは長期借入金が15,000千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は881,635千円となり、前連結会計年度末に比べ112,340千円減少いたしました。

### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,869,749千円となり、前連結会計年度末に比べ17,976千円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益を12,947千円計上したものの、剰余金の配当が24,832千円あったことにより利益剰余金が11,885千円、繰延ヘッジ損益が6,690千円それぞれ減少したことによるものであります。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ2.5ポイント増加し68.0%となりました。

## (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

## (4) 研究開発活動

該当事項はありません。

## 3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	24,000,000
計	24,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年3月31日)	提出日現在発行数(株) (2020年5月15日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	6,862,200	6,862,200	東京証券取引所 (市場第一部)	完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であり、単元株式数は100株であります。
計	6,862,200	6,862,200		

(注) 提出日現在発行数には、2020年5月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年3月31日		6,862,200		273,422		173,422

##### (5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年12月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 654,100		
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,206,900	62,069	
単元未満株式	普通株式 1,200		
発行済株式総数	6,862,200		
総株主の議決権		62,069	

(注) 「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式40株が含まれております。

【自己株式等】

2020年3月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数の 割合(%)
(自己保有株式) 株式会社シンシア	東京都中央区日本橋箱崎町 30-1	654,100		654,100	9.53
計		654,100		654,100	9.53

(注) 上記のほか、単元未満株式として自己株式を40株所有しております。

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(2007年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(2020年1月1日から2020年3月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(2020年1月1日から2020年3月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,048,927	923,972
受取手形及び売掛金	703,759	590,011
商品	693,850	720,011
貯蔵品	114,868	107,012
前渡金	1,090	3,593
デリバティブ債権	34,246	32,283
外国為替差入証拠金	203,680	205,440
その他	59,495	154,719
貸倒引当金	46,198	45,892
流動資産合計	2,813,720	2,691,151
固定資産		
有形固定資産	17,343	16,026
無形固定資産	9,753	8,911
投資その他の資産		
繰延税金資産	13,781	8,322
その他	28,406	28,276
貸倒引当金	1,303	1,303
投資その他の資産合計	40,884	35,294
固定資産合計	67,981	60,232
資産合計	2,881,701	2,751,384

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	252,466	233,508
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	60,000	60,000
未払法人税等	72,578	4,731
賞与引当金	9,240	23,256
その他	154,689	130,140
流動負債合計	748,975	651,635
固定負債		
長期借入金	195,000	180,000
長期預り保証金	50,000	50,000
固定負債合計	245,000	230,000
負債合計	993,975	881,635
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	273,422	273,422
資本剰余金	353,422	353,422
利益剰余金	1,647,607	1,635,722
自己株式	411,662	411,662
株主資本合計	1,862,790	1,850,905
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	23,760	17,069
為替換算調整勘定	1,174	1,773
その他の包括利益累計額合計	24,935	18,843
純資産合計	1,887,726	1,869,749
負債純資産合計	2,881,701	2,751,384

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
売上高	1,062,365	962,162
売上原価	765,573	651,004
売上総利益	296,792	311,158
販売費及び一般管理費	290,319	292,869
営業利益	6,472	18,288
営業外収益		
受取利息	277	437
デリバティブ評価益	3,170	7,680
その他	1,144	160
営業外収益合計	4,592	8,277
営業外費用		
支払利息	2,074	696
為替差損	1,988	1,708
貸倒引当金繰入額	3	47
その他	441	951
営業外費用合計	4,508	3,403
経常利益	6,556	23,162
税金等調整前四半期純利益	6,556	23,162
法人税、住民税及び事業税	1,228	1,803
法人税等調整額	1,745	8,411
法人税等合計	2,974	10,215
四半期純利益	3,582	12,947
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,582	12,947

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	3,582	12,947
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	1,394	6,690
為替換算調整勘定	40	598
その他の包括利益合計	1,434	6,091
四半期包括利益	2,147	6,855
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,147	6,855
非支配株主に係る四半期包括利益		

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
減価償却費	1,768千円	2,156千円
のれんの償却額	307千円	千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年3月28日 定時株主総会	普通株式	12,416	2	2018年12月31日	2019年3月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年3月30日 定時株主総会	普通株式	24,832	4	2019年12月31日	2020年3月31日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日  
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、コンタクトレンズ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益	0円58銭	2円09銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	3,582	12,947
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	3,582	12,947
普通株式の期中平均株式数(株)	6,208,100	6,208,060
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	0円57銭	2円06銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(株)	67,997	68,857
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結 会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年5月15日

株式会社シンシア  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 植 草 寛

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 木 村 純 一

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社シンシアの2020年1月1日から2020年12月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(2020年1月1日から2020年3月31日まで)及び第1四半期連結累計期間(2020年1月1日から2020年3月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社シンシア及び連結子会社の2020年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象に含まれていません。